

●協働学習 ■同時進行型

実践タイトル デジタル教科書を活用してみんなで話し合う

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

電子黒板

・児童が操作をしながら、自分の考えの根拠を指し示して話し合う。

指導者用デジタル教科書

・本文ビューを活用し、本文にサイドラインを引いて自分の考えの根拠を示す。

参考にしてほしいポイント

- ・児童の実態と教師の願いをもとに、言語活動を設定する。
- ・電子黒板には、国語デジタル教科書の本文を提示し、登場人物の様子や気持ちを考える根拠となった部分を明らかにして話をさせる。
- ・黒板には、できた読み札を貼り、前に集まって読み札の表現のよいところを話し合う。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入 0 10	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文「お手紙」(アーノルド・ロベール作)の「場面③」を音読する。 ・本時のめあてを知る。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">お手紙をまつ二人のようすや気持ちがつたわるカルタを作ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板 ・指導者用デジタル教科書(国語) ・実物(自分で作ったお面)
展開 10 25	<ul style="list-style-type: none"> ・本文を読んで、二人の様子や気持ちが表れているところに、印をつける。 ・印をつけた本文をもとに、二人の様子や気持ちが伝わるカルタの「読み札」を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実物(挿絵のカラーコピー)
まとめ 25 45	<ul style="list-style-type: none"> ・作った読み札をもとに、二人の関係を話し合う。 ・次時の活動の内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板 ・指導者用デジタル教科書(国語)



写真1: 根拠になった部分にサイドラインを引く



写真2: 根拠を示しながら自分の考えを話す



写真3: 読み札を貼り表現のよいところを話し合う

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・本時では、「お手紙が来ないと決めつけているがまくん」「けんかしているふたり」という読み札をもとに、それについての考えを出し合った。二人の行動や会話に目を向け、デジタル教科書の本文にサイドラインを引きながら、自分の考えを話す児童が多く見られた。また、聞く側も画面を見つめ、友だちの考えの根拠をしっかりと見て理解し、「賛成・反対・つけたし」を言うことができていた。

活用効果

評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・読む能力(読み札にしたい二人の様子を、行動や会話を手がかりに読んでいる) 	具体的変容	<ul style="list-style-type: none"> ・単元を貫く言語活動を「カルタづくり」とした。これまでのように「気持ちは？」という発問をしなくても、カルタを作ることで、二人の気持ちに迫り、電子黒板を使って自分の考えを発表したいという意欲と、読みの根拠をきちんと示して発言する様子が見られた。
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------	-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

実践の手応え

- ・前に出て、電子黒板に書き込みながら意見を言う児童が、多く見られた。シリーズ読みによって『お手紙』が大好きになっていることと、電子黒板を操作して意見を言いたいという児童の思いが感じられた。